

結婚満足感から家族の親和感を探る

百瀬靖子

(東京家政大学家政学部)

On the Harmony of Family and Marital Satisfaction

Yasuko Momose

要 約

本目的は「両性の結婚満足感の視座」(百瀬靖子 1998)を補完・発展させ、「家族の親和感」を探ることである。NFR (1998)における結婚満足感の高いグループおよび低いグループを抽出し、「夫婦の生活基盤および夫婦や家族の親和感を醸成すると考えられる項目」を分析・検討した。その結果、「家族の親和感」としての「子どもとの接触度」はぜんたいとしてはあまり高くなく特に男性の接触度が低く、「義父母との関係」では女性がやや問題なしとはしないが、「結婚満足感の高いグループ」は「低いグループ」に比べ「子どもとの接触度」が高く「父母・義父母との関係」は概ね良好である。また、「人の助けを必要とするとき頼りにする人」は配偶者を中心に親・兄弟姉妹、子ども・その配偶者等の親族が圧倒的に多く、「家族の親和感」という面では十分な結びつきが維持されており、「結婚満足感の高いグループ」に属する割合も親族以外を頼りにする人に比べ圧倒的に高い結果となっている。

キーワード：親和感、結婚満足感、ジェンダーとしての男性・女性

Abstract

This report is based upon my preliminary survey report of Aug. 1998 concerning 'marital satisfaction of a husband and wife' and is extended to the theme of 'harmony of the family members'. The data of this report are collected through the Jan. 1999 NRF survey 'the satisfactory level of marriage lives' by choosing the items producing the harmony among family members and the items supporting the foundation of marriage lives. The sample numbers are as follows.

Group A ; having higher satisfactory levels from marriage lives 1491 persons
(male 921, female 570)

Group B ; having lower satisfactory levels from marriage lives 777 persons
(male 217, female 560)

My analysis as to the items producing the harmony between the couples and the harmony among family members shows followings. Generally male parent contacts his children less frequently than female parent. But the cases where male parents' more frequent contacts with his children produce more harmony, can be found among the samples of Group A. Also, 80~95% male and female of Group A keep good relations with their parents and parents in law. But some wives of Group A keep less frequent contact relations with their parents in law. And when people belonging to Group A, need someone's help, naturally they are going to family members and relatives.

Key words : harmony, marital satisfaction, gender

1 問題設定

(1) 本稿の課題

本分析は、先の日本家族社会学会の全国家族調査(NFR)研究会『夫婦・親子関係の測定と方法;NFR予備調査データを用いた検討』1998年;における「両性の結婚満足感の視座」(百瀬靖子)の結果を補完・発展させ、「結婚満足感」と今回選定した諸項目の間に「家族の親和感」という領域が引き出されるかを探ることを目的とする。

(2) 分析の対象と項目の選定

<分析の対象>

NFR本調査(1999.1)における夫婦関係満足感中の『結婚生活全体』の満足感集計結果の内から「結婚満足感の高いグループ」と「結婚満足感の低いグループ」を抜き出した。

「結婚満足感の高いグループA」とは、調査票における「a. かなり満足」と答えたグループであり、「結婚満足感の低いグループB」とは「c. どちらかといえば不満」と「d. かなり不満」を合計したグループである。(したがって、「b. どちらかといえば満足」と答えた平均値的なグループは対象外とした。)

<分析の項目>

夫婦の生活を基盤とする構成項目と、夫婦や家族の親和感を醸成すると考えられる項目の2大項目について以下の18項目とした。

1)夫婦の生活を基盤とする構成項目

- ①年齢
- ②学歴
- ③職業
- ④本人の収入
- ⑤家族世帯の収入
- ⑥健康状態

2)夫婦や家族の親和感を醸成すると考えられる項目

- ⑦ふだん子供とのかかわり
 - i. 一緒に夕食をとる
 - ii. 趣味、スポーツ、ゲームなどを一緒に楽しむ
 - iii. 一緒に外出をする
 - iv. 知識や技能(勉強や料理など)を教える
- ⑧親との関係
 - i. 実父母との関係
 - ii. 義父母との関係
- ⑨頼れる人との関係
 - i. 問題をかかえて落ち込んだり混乱したとき

- ii. 急にお金(30万円程度)を借りなければならないとき
- iii. 病気や事故等でどうしても人手が必要なとき
- iv. あなたが寝たきりなどで、介護を必要とするときだれに頼むか

2. 分析方法

「結婚満足感の高いグループA」と「結婚満足感の低いグループB」について男性・女性別に上記の16項目とのクロス単純集計を行なった。

3. 結果および考察

(1) 分析対象者

クロス集計の対象とした人数は、「表1配偶者への結婚生活全体の満足感集計」(NFR(1999. 1)結婚満足感調査より抽出)のとおり全対象者5677人中で「かなり満足」と答えた1491人と「どちらかと言えば不満足」の550人及び「かなり不満足」の227人合計777人の合計2268人で全対象者の40%に相当する。

男女別には「表2 結婚満足感分析対象」のとおり、男性1138人、女性1130人とほぼ均衡している。

そのうち「結婚満足感が高いグループA」に属する人は表1で「a. かなり満足」の男性921人・女性570人、「結婚満足感の低いグループB」に属する人は、「b. どちらかと言えば不満足」「c. かなり不満足」合計で男性217人・女性560人である。

合計に対する「結婚満足感の高いグループA」に属する比率は男性が80.9%と高い比率を示しているのに対し、女性は50.4%と意外に低率を示しており男女間の意識に大きな差がみられるが、この傾向は従来からあまり変わらない。

ジェンダーフリーの推進が国際的にも国内的にも叫ばれて久しいなかで、女性の地位向上と共に結婚満足感が今後どのように変化・改善していくのか見守っていく必要があると考える。

なお、「どちらかと言えば満足」と答えたいわば中間層と言われる3309人(男性1617人、女性1692人)を分析の対象から除外したわけは、日常生活の中で結婚生活についての満足・不満足度に関心な層とみとめられ、本題の分析対象には馴染まないと判断したためである。

(2) 分析対象者の特徴

①年齢

表3のとおり、50台を中心にはほぼ正規分布しており、平均年齢は男性が約53歳、女性が約51歳とみられる。

②学歴

表4のとおり、男性が旧制中学・新制高校が38.3%で最も多く、大学以上が29.7%、義務教育が21.5%と続いているのに対して、女性は旧制中学・新制高校が45.2%で最も多く、義務教育の

22.5%、新制短大旧制高校の16.9%と続き、大学以上は6.8%にとどまっている。

③職業

表5のとおり、男性は技能・労務・作業が34.9%と最も多く、専門技術、管理職、事務・営業、販売・サービスと続いているが、いずれも14～15%台と大差ないのに対し、女性は販売サービスが32.8%と最も多く、事務営業系、技能・労働・作業が22%台で続いているのに対して、管理職業は1.1%と低いのは、女性の職業の相当数がパート・アルバイトによるものと推定され、ジェンダーフリーがまだ十分でないことの現れであろうか。

④本人年収

表6のとおり、男性は中心が400～599万円台で26.5%、続いて200～399万円台が21.9%、600～799万円台が19.1%、800～999万円台11.2%、1000～1199万円台9.1%で1000万円以上の高額所得者が10.3%もいるのに対し、女性は収入なしが24.9%で最も多く、パート・アルバイトを多く含む100万円未満、100～199万円が合わせて53.3%に達しており400万円以上は10%にも達していない。ここにもジェンダーフリーへの遠い道のりを感じる。

⑤家族年収

表7の計の欄のとおり、中心が400～599万円台で19.9%、続いて600～799万円台が19.4%、200～399万円台が14.4%、800～999万円台13.3%、1000万円以上が28.67%となっている。

(3) 結婚満足感と夫婦の生活基盤とする6項目とのクロス集計・分析

①年齢別分析(表8結婚満足感と年齢)

男性は「結婚満足感が高いグループA」に属する割合は平均80.9%で、年代別に見て平均より高い年齢は20代が97.1%で最も高く、次いで30代の87.4%、70代の84.8%と続き、中間の40代(75.9%)、50代(77.8%)、60代(79.6%)の順に低率となっており、働き盛りの年齢が満足感が低い傾向になっている。

これに対して女性は「結婚満足感が高いグループA」に属する割合は平均50.4%で、20代が一番高いところは男性と同様ながら、その割合は69.2%と男性に比べて大幅に低いのが身につまされる。また「結婚満足感が高いグループA」に属する割合が最も低いのは、ライフステージがちょうど子供の教育期間にあたる40代の42.4%、ついで子どもの結婚のライフステージにあたる50代が49.3%、子育てのステージにあたる30代が50.0%となっているが、ようやく子どもから解放されても60代が56.1%、70代55.3%、となっており、今度は介護の問題などが女性に負担となるのか低空飛行が続き、女性の結婚生活には一生厳しさがついてまわっているであろうか。

②学歴別分析(表9結婚満足感と学歴)

男性の全体的に「結婚満足感が高いグループA」に属する割合は平均81.0%であるが、学

歴別に見ると義務教育の 73.6%から大学以上の 86.8%へと傾向的に学歴の高度化につれて満足感が高くなっており両者の間に 13.2 ポイントの格差がみられる。

それに対して女性は、「結婚満足感の高いグループA」に属する割合が平均で 50.4%と男性に比べて低いが、学歴による差としては大学以上(61.8%)と短大・旧制高校(59.0%)が平均割合より高く、各種専門学校(46.6%)が最も低く、旧制中・新制高(47.7%)、義務教育(47.8%)が平均割合より低い。

最も高い大学以上(61.8%)と各種専門学校(46.6%)の間の格差は 15.3 ポイントと男性の場合より大きい。

③本人職業形態別分析(表 10 結婚満足感と本人職業形態)

男性の「結婚満足感が高いグループA」に属する平均割合は 81.2%で、管理職業(87.6%)、専門技術(85.5%)、事務・営業系(83.2%)が平均より高く、技能・労務・作業(77.2%)、販売サービス(79.4%)、農林漁業(72.9%)が平均を下回り、最も高い管理職業と最も低い農林業の間の格差は 14.7 ポイントである。

一方女性の、「結婚満足感が高いグループA」が平均で 49.3%と、表2の結婚生活全体の満足感の高い女性平均 50.4%を 1.1 ポイント下回っているが、管理職業(66.7%)、専門技術(60.3%)、事務・営業系(56.9%)の人は平均を大幅に上回り、農林漁業(50.0%)がほぼ平均である。

それに対して、販売・サービス(39.7%)技能・労務・作業(47.0%)が厳しい状況にあり、「結婚満足感が高いグループA」に属する割合が最も高い管理職業(66.7%)と最も低い販売・サービス(39.7%)の間の格差は 27 ポイントと非常に大きい。両者の格差が大きいのは、前者が常勤者が多く、後者はパート・アルバイト等臨時的な職についている人が多いことに起因するものと思われる。

なお、本項目では欠損回答が合計 91 人、うち女性 84 人(7.4%)と大きくその大部分は主婦層と解釈すべきかもしれないが、次の本人年収なしの回答との関係と相伴って、今後の調査への反省点になろう。

④本人年収別分析(表 11 結婚満足感と本人年収)

男性の「結婚満足感が高いグループA」に属する平均割合は 80.8%で、200～399 万円台の収入以上の人の80%以上が「結婚満足感が高いグループA」に属し、600～799 万円台の 85.6%を中心に放物線をなしており、年齢分布の40歳台を中心とした 30 歳台から 50 歳台の放物線とほぼ一致する。また、1000 万以上では 86.3%の高率を示している。

一方、女性の「結婚満足感が高いグループA」に属する平均割合は 50.4%と、全体母数が小さい600万円以上のを除けばいずれも平均から5ポイント以内に収まっており、年収による結婚満足感の差異はみとめられないと判断され、ほとんどが専業主婦であろうと思われる「女性の

本人収入なし(152人)の「結婚満足感が高いグループA」に属する割合が54.9%と平均を上回っていること合わせて昨今のジェンダー社会への進行との関係から、これらの人々がどの年齢層に該当するか興味深く、今後追求してみたいところである。

⑤世帯年収別分析(表12 結婚満足感と世帯年収)

男性の「結婚満足感が高いグループA」に属する平均値は80.8%で傾向的には収入が増加するにつれて上昇しているが、400万円未満と400万円以上とで満足感が2極分解しており、200万円未満の62.8%から400～599万円台の83.6%まではほぼ直線的に上昇し、600～799万円台から1200万円以上まではほぼ横ばいとなっている。

400万円以上のところでは収入による差は1.3ポイントのレンジにおさまっており、収入がある限度を超えれば結婚満足感への差異はみとめられない。

一方女性は、「結婚満足感が高いグループA」に属する女性の平均割合は50.5%で、世帯収入が600万円台では平均を示し、200万円未満(39.1%)から1200万円以上(61.1%)にかけてほぼ比例して上昇していると言える。

⑥健康状態別分析(表13 結婚満足感と健康状態【この1年間】)

男性の「結婚満足感が高いグループA」に属する平均割合は81.0%で、平均を超えるのは「まあまあ良好」の83.7%、「大変良好」の89.4%と高い比率を示しているが、下回るほうでは「どちらとも言えない」が73.2%と平均を6.8ポイントも下回り、以下「大変悪い」の71.9%、「やや悪い」の66.7%の順で、上下の差は20ポイントをこえており、男性の場合は予備調査同様健康状態が結婚満足感とある程度の相関関係があるといえる。

女性の平均は50.4%で、平均を上回るのは「大変良好」の68.1%と「まあまあ良好」の55.8%で、平均以下は「大変悪い」が47.8%、「やや悪い」が36.1%、「どちらとも言えない」が32.2%となっており、上下の差は32ポイントの開きとなっており、「どちらとも言えない」についても女性の場合は、健康状態に自信がない状態であるとも解釈でき、「結婚満足感が高いグループA」に属する割合が32.2%と低い比率であることを合わせると、女性の健康状態と結婚満足感との相関関係は男性以上に高いと判断できる。

(4) 夫婦や家族の親和感を醸成すると考えられる項目

⑦ふだん子供とのかかわりとの関係と結婚満足感

i.一緒に夕食を共にする頻度による分析(表14—①子供と夕食を共にすることと結婚満足感)

男性の「結婚満足感が高いグループA」に属する平均割合は80.1%であるが、週1回以上で80.1%であるのに対し、年に数回以下でも79.2%と予想に反してほとんど差がみられない。

また、女性の場合も平均が50.2%と、「表2結婚生活性別分析対象」における満足感の高いグループAの女性平均50.4%をやや下まわっているが、頻度別には週1回以上が50.2%であるの

に対し、年数回以下が 61.5%と予想に反した結果が出ているのは、どう解釈したらよいのであろうか。

つまるところは、家族の生活リズムの個人主義化が進行した現代社会では、家族そろって一緒に夕食を取ることは家族の親和感や満足感とは関係なく困難な世の中になっていると解釈するのが妥当なのかもしれない。

ii. 趣味・スポーツ・ゲームなどを一緒に楽しむ頻度による分析(表 14—② 子供と趣味・スポーツ・ゲームなどを一緒に楽しむことと結婚満足感)

男性の「結婚満足感が高いグループA」に属する平均割合は 80.2%であるが、週1回以上が 84.8%であるのに対して、年に数回以下では 77.9%で 6.9 ポイントの差がみられる。

また、女性の場合も平均は 50.2%で週 1 回以上が 53.7%であるのに対し、年に数回以下では 48.3%と 5.4 ポイントの差がみられ、これも男女とも予想に比べてやや格差が小さいようではあるが、子供との接触が多いほうの家庭には、わずかではあるが結婚満足感が高く現れていようにみられる。

iii. 子供と一緒に外出する頻度による分析(表 14—③ 子供と一緒に外出することと結婚満足感)

男性の「結婚満足感が高いグループA」に属する平均割合は 80.0%であるが、週1回以上が 85.1%であるのに対して、年に数回以下も 85.1%とまったく差が見られない。

また女性の場合も平均が 50.3%で、週 1 回以上も年に数回以下も同率の 51.5%と、予想を履かえず結果を示している。

iv. 子供に知識や技能(勉強や料理など)を教える程度による分析(表 14—④ 子供に知識や技能(勉強や料理など)を教える程度と結婚満足感)

男性の「結婚満足感が高いグループA」に属する平均割合は 80.2%で、週1回以上が 86.2%であるのに対して、年に数回以下は 77.5%と、両者の差は 8.7 ポイントの差が見られる。

女性の場合は、平均が 50.3%で、週 1 回以上も 53.8%であるのに対し、年数回以下は 47.5%と両者の格差は 6.3 ポイントとなっており、ここでは男女ともやや予想に近い結果が出ている。

<子供とのかかわりと結婚満足感総括>

以上「子供とのかかわり」の結婚満足感との関係について4問の分析を個別に見たが、これを表 14—⑤と表 14—⑥によって別の角度から見てみた。

○ 表 14—⑤ 子供と一緒に行動する頻度と結婚満足感(その 1)は、子供と一緒に行動することが「週 1 回以上」と「年数回以下」の場合に分けてそれぞれについて「結婚満足感が高いグループ A」「結婚満足感が低いグループ B」のどちらに属するか分類したものであり、

○ 表14—⑥「子供と一緒に行動する頻度と結婚満足感(その2)」は逆に、「結婚満足感の高いグループA」に属する人と「結婚満足感の低いグループB」に属する人に分けて「子供と一緒に行動すること」が「週1回以上」と「年数回以下」の割合を示したものであり男女別にみてみたい。

<男性の場合>

表14—⑤では「週1回以上子供と行動を一緒にする場合」の「結婚満足感の高いグループA」に属す割合は4項目平均で83.3%であるのに対し、「年に数回以下」のそれは77.6%と、両者の格差は「週に1回以上」の方が5.7ポイント高く、その中で格差の最も大きい項目は「④知識や技能(勉強や料理)を教える」の8.7ポイントで、以下「③いっしょに外出をする」が8.5ポイント、「②スポーツなどを一緒に楽しむ」が6.9ポイント「①いっしょに夕食をする」が1.3ポイントの順である。

表14—⑥によると男性の「結婚満足感の高いグループA」に属している人が「週1回以上」子供と接触しているのは4項目平均で46.2%であり、半数以上が「年に数回以下」しか子供と接触できていないのが現実のようである。また、「結婚満足感の低いグループB」に属している人が「週1回以上」子供と接触しているのは、平均37.3%で更に多くの方が「年に数回以下」しか子供と接触できていないことになるが、両者で比較すると「結婚満足感の高いグループA」に属している人の方が「結婚満足感の低いグループB」に属している人に比べて「週1回以上」子供と接触している割合が9ポイント高い。項目別にみると、A・B両グループとも「週1回以上」子供と接触している割合が高いのは「①一緒に夕食をとる」が最も高く、続いて「③一緒に外出する」「②スポーツなどを一緒にする」「④知識や技能を教える」の順であるが、項目ごとの格差は「③一緒に外出する」が13.0ポイントで最も高く、次いで「④知識や技能を教える」が11.6ポイント、「②スポーツなどを一緒にする」が9.7ポイントで、「①一緒に夕食をとる」が1.5ポイントと最も低い。

以上から男性は、子供と接触する頻度は表14—⑥の「週1回以上」合計(a+b)の44.4%が示すとおりに決して高くないが、その中では子供と接触する頻度が高い方が結婚満足感が高いことは事実である。また項目別に見てそうした相関関係が高いのは③「一緒に外出する」、「④知識や技能を教える」、「②スポーツなどを一緒にする」で、「①一緒に夕食をとる」はあまり相関関係が見とめられない。

<女性の場合>

表14—⑤では女性が「週1回以上」子供と行動を一緒にする場合の「結婚満足感の高いグループA」に属す割合は平均50.8%であるのに対し、「年に数回以下」のそれは49.6%と、両者の格差は「週1回以上」の方がわずかに1.2ポイント高いだけである。また各項目ごとの格差は、最も大きいのは男性の場合と同様「④知識や技能(勉強や料理)を教える」の6.3ポイントとであるが、以下の大きい順は、「②スポーツなどを一緒に楽しむ」(5.4ポイント)「③一緒に外出をする」(2.5ポイント)と男性の場合と同様と順番が入れ替わり、最後が「①一緒に夕食をする」で男性の場合と同様であるがその格差は△14.0ポイントで他に項目とは逆に「年に数回以下」の人の方が「週1回以上」の人より結婚

満足感の高いグループに属する人が多いことを示している。

表14—⑥によると女性の場合は「結婚満足感の高いグループA」に属している人が「週1回以上」子供と接触しているのは平均53.6%、「結婚満足感の低いグループB」に属している人が同じく「週1回以上」子供と接触しているのは平均52.3%で両者の格差は1.3ポイントと、男性とは異なつて僅少差であると共に女性の半数以上が週1回以上は子供と接触しているようである(「週1回以上」合計a+b 52.9%)。項目別にみると、「週1回以上」の割合の水準が「①一緒に夕食をする」がA・Bグループとも80%前後を示しているのと、「②スポーツなどを一緒に楽しむ」が30%台の低率を示しているのが目立つ。「結婚満足感の高いグループA」に属している人と「結婚満足感の低いグループB」に属している人の間の「週1回以上」子供と接触している割合の格差について項目ごとに見てみると、最も格差の大きいのは「④知識や技能(勉強や料理)を教える」の6.2ポイントとで、以下の大きい順は、「②スポーツなどを一緒に楽しむ」(5.0ポイント)「③一緒に外出をする」(2.5ポイント)と男性の場合と順番が入れ替わっているが、最後の「①一緒に夕食をする」は男性の場合と同様である。

以上から女性は、子供と接触する頻度は表14—⑥の「週1回以上」合計(a+b)の52.9%が示すとおり男性と違って過半数を超えているものの決して高くない上、子供と接触する頻度が高い方が結婚満足感が高いことは事実であるが平均的その差はごく僅かである。その中で項目別に見て「結婚満足感」と「子供との接触頻度」の間に相関関係がやや見られるのは、「④知識や技能を教える」、「②スポーツなどを一緒にする」で、「①一緒に夕食をとる」は全く相関関係が見とめられない。

⑧親との関係と結婚満足感

i. 実父母との関係《表15—①②③父母との関係と結婚満足感(その①②③)》

表15—①は「結婚満足感の高いグループA」と「結婚満足感の低いグループB」に属する人についてそれぞれ実父母との関係を「良好」から「悪い」まで4区分した調査結果であるが、脚注にあるように欠損回答が父親との関係が1457人(64.2%)、母親との関係が1022人(45.1%)といずれも高率を示していることと、「どちらかと言えば悪い」と「悪い」に属する標本が極めて少ないことから、項目を4区分のまま分析するよりは表15—②・③のように「概ねよい」「良好」と「どちらかと言えば良好」と「概ねよくない」「どちらかと言えば悪い」と「悪い」へと大きくくりした方が、よりの確な傾向観察が出来ると思われるので以下それにより分析することとする。

男性の場合の父親との関係は全体では、表15—③合計欄のとおり「概ねよい」が95.1%と高い比率を示しているが、表15—②によると、「概ねよい」と答えた人のうち83.9%が「結婚満足感の高いグループA」に属しているのに対し「概ねよくない」と答えた人では68.4%が「結婚満足感の高いグループA」に属しており両者には15.5ポイントの格差がある。

母親との関係では全体では、表15—③合計欄のとおり「概ねよい」が95.5%と高い比率を示しているが、表15—②によると、「概ねよい」と答えた人のうち83.3%が「結婚満足感の高いグループA」

に属しているのに対し「概ねよくない」と答えた人では 48.1%が「結婚満足感の高いグループA」に属しており両者の格差が 35.2 ポイントと大きな開きとなっている。すなわち、両親との関係の良し悪しは結婚満足感に多大な影響を与え、中でも母親との関係は影響度は大きい。

女性の場合の父親との関係は全体では、表 15—③合計欄のとおり「概ねよい」が 92.5%と高い比率を示しているが、表 15—②によると、「概ねよい」と答えた人のうち 50.8%が「結婚満足感の高いグループA」に属しているのに対し「概ねよくない」と答えた人では 31.3%が「結婚満足感の高いグループA」に属しており両者間には 19.5 ポイントの格差がある。

母親との関係では全体では、表 15—③合計欄のとおり「概ねよい」が 96.7%と高い比率を示しているが、表 15—②によると、「概ねよい」と答えた人のうち 50.0%が「結婚満足感の高いグループA」に属しているのに対し「概ねよくない」と答えた人では 33.3%が「結婚満足感の高いグループA」に属しており両者の格差は 16.7 ポイントとなっている。すなわち、女性の場合は全体的に結婚満足感が男性に比べて低い中で、両親との関係の良くても結婚満足感が高いわけではないが、関係が悪い場合には極端に満足感が低く現れていることから両者の間には若干の相関関係があるといえる。

ii. 義父母との関係《表 16—①②③義父母との関係と結婚満足感(その①②③)》

表 16—①は「結婚満足感の高いグループA」と「結婚満足感の低いグループB」に属する人についてそれぞれ義父母との関係を「良好」から「悪い」まで4区分した調査結果であるが、脚注にあるように欠損回答が義父との関係が 1475 人(65.1%)、義母との関係が 1022 人(45.1%)といずれも高率を示していることと、「どちらかと言えば悪い」と「悪い」に属する標本が極めて少ないことから、項目を4区分のまま分析するよりは、表 16—②・③のように「概ねよい」(「良好」と「どちらかと言えば良好」)と「概ねよくない」(「どちらかと言えば悪い」と「悪い」)へと大きくくりした方が、よりの確な傾向観察が出来ると思われるので以下それにより分析することとする。

男性の場合の義父との関係は全体では、表 16—③合計(A+B)欄のとおり「概ねよい」が 94.3%と高い比率を示しているが、表 16—②によると、「概ねよい」と答えた人のうち 81.7%が「結婚満足感の高いグループA」に属しているのに対し「概ねよくない」と答えた人では 40.0%が「結婚満足感の高いグループA」に属しているのみであり両者には 41.7 ポイントの格差がある。

義母との関係では全体では、表 16—③合計(A+B)欄のとおり「概ねよい」が 95.7%と高い比率を示しているが、表 16—②によると、「概ねよい」と答えた人のうち 84.4%が「結婚満足感の高いグループA」に属しているのに対し「概ねよくない」と答えた人では 24.1%が「結婚満足感の高いグループA」に属しており両者の格差は 60.3 ポイントとなっている。すなわち、義父母との関係の良し悪しは結婚満足感に多大な影響を与え、中でも「義母との関係の良し悪し」と「結婚満足感」との間には若干の相関関係があると判断される。

女性の場合の義父との関係は全体では、表 16—③合計(A+B)欄のとおり「概ねよい」が 83.5%と高い比率を示しているが、表 16—②によると、「概ねよい」と答えた人のうち 44.8%が「結婚満足

感の高いグループA」に属しているのに対し「概ねよくない」と答えた人では25.9%しか「結婚満足感の高いグループA」に属しておらず、両者間には18.9ポイントの格差がある。

義母との関係は全体では、表16—③合計(A+B)欄のとおり「概ねよい」が82.1%と高い比率を示しているが、表16—②によると、「概ねよい」と答えた人のうち54.9%が「結婚満足感の高いグループA」に属しているのに対し「概ねよくない」と答えた人では17.5%しか「結婚満足感の高いグループA」に属しておらず、両者間には37.4ポイントの格差がある。

すなわち、女性の場合義父母との関係はそれほど悪いわけではないが、全体的に結婚満足感が男性に比べて低い中で、「義父母との関係が良い」ことが「結婚満足感の高い方」へと影響を与えることはないが、「関係が悪い場合」には極端に「結婚満足感」を低く押し下げているように見られ、「義父母との関係」と「結婚満足感」の両者の間には若干の相関関係があるといえるようだ。

<父母・義父母とのかかわりと結婚満足感についての総括>

①. 「父母」とのかかわりについて「結婚満足感の高いグループA」では、男性・女性とも「概ねよい」が95%以上の高率で、良好な関係を示している。

②. 「父母」とのかかわりについて「結婚満足感の低いグループB」では、男性は「概ねよい」の割合は、「結婚満足感の高いグループA」に比べてやや低くなる。女性の場合は母親との関係は「概ねよい」の割合は「結婚満足感の高いグループA」とほとんど変わらないが、父親との関係では「概ねよい」の割合はやや低下している。

③. つまり父親との関係は男性・女性ともその「関係の良・否」と「結婚満足感の高・低」との間には、やや相関関係があるとみられる。母親との関係については男性の場合はその関係の良否と「結婚満足感」の高低とはやや相関関係があるとみられるが、女性の場合は相関関係はほとんどみとめられない。

④. 義父母とのかかわりについては男性・女性ともその「関係の良・否」と「結婚満足感の高・低」との間には、相関関係があるとみられ、特に女性の場合に顕著である。

⑨ひとの助けを必要とする場合にたよりにする人と結婚満足感

本問題については、i からivまでの4項目について頼りにしたい人を順番をつけずに複数回答が可能となっているため、分析結果については他の場合とややニュアンスを異にするところがあるが、いざというときにだれを頼りにしようと思っているかと言うことが結婚満足感にどう結びつくかについて分析してみたい。

i. 問題をかかえて落ち込んだり混乱したとき《表17-①②問題をかかえて落ち込んだり混乱したとき頼りにする人と結婚満足感(その①②)》

男性の場合は表17-②によると、問題をかかえて落ち込んだり混乱したとき頼りにする人は「配偶者」が52.7%で最も多く、次いで「友人や職場の同僚」(15.0%)、「親・兄弟姉妹」(14.5%)「子

供・その配偶者」(8.4%)の順となっており、「近所の人」、「その他の親族」、「専門機関」は非常に少ない。すなわち圧倒的にいわゆる「拡大家族の構成員」が頼りにされている。

表17-①で「頼りにする人」別に「結婚満足感の高いグループA」に属する割合を見てみると、「配偶者」が87.4%と最も高く、以下度数が少ない「近所の人」「その他の親族」「専門機関」を別にすると、「子供・その配偶者」(83.0%)、「友人や職場の同僚」(76.8%)、「親・兄弟姉妹」(76.0%)で表2の男性の「結婚満足感の高いグループA」に属する割合80.9%と比較すると、「配偶者」・「子供とその配偶者」を頼りに出来る人の「結婚満足感の高いグループA」に属する割合が高く、親しい仲といっても「友人や職場の同僚」、「親・兄弟姉妹」等を頼りにしなくてはならない人の「グループA」に属する割合は低い。

女性の場合も表17-②によると、問題をかかえて落ち込んだり混乱したとき頼りにする人は「配偶者」が41.1%で最も多く、次いで、「親・兄弟姉妹」(19.9%)「友人や職場の同僚」(17.4%)「子供・その配偶者」(12.7%)の順となっており、「その他の親族」「近所の人」「専門機関」は非常に少ない。すなわち女性の場合も圧倒的にいわゆる「拡大家族の構成員」が頼りにされているといえる。

表17-①で「頼りにする人」別に「結婚満足感の高いグループA」に属する割合を見てみると、「配偶者」が65.6%と最も高く、以下度数が少ない「その他の親族」・「近所の人」・「専門機関」を別にすると、「子供・その配偶者」(43.8%)、「親・兄弟姉妹」(43.4%)、「友人や職場の同僚」(39.3%)で、表2の女性の「結婚満足感の高いグループA」に属する割合50.4%と比較すると、「配偶者」を頼りに出来る人の「グループA」に属する割合は高いが、「子供とその配偶者」や「友人や職場の同僚」、「親・兄弟姉妹」等を頼りにしなくてはならない人の「グループA」に属する割合は低いし、「配偶者」の場合との格差は約21ポイント開いている。

ii. 急にお金(30万円程度)を借りなければならないとき《表18-①②.急にお金(30万円程度)を借りなければならないとき頼りにする人と結婚満足感(その①②)》

男性の場合は表18-②によると、急にお金(30万円程度)を借りなければならないとき頼りにする人は「配偶者」が38.4%で最も多く、次いで「親・兄弟姉妹」(27.4%)、「専門機関」(15.9%)「子供・その配偶者」(10.0%)の順で「友人や職場の同僚」、「近所の人」、「その他の親族」等は非常に少ない。すなわち圧倒的にいわゆる親族が頼りにされているほか、「専門機関」も頼りにされている。

表18-①で「頼りにする人」別に「結婚満足感の高いグループA」に属する割合を見てみると、「配偶者」が86.9%と最も高く、以下度数が少ない「友人や職場の同僚」、「近所の人」、「その他の親族」等を別にすると、「親・兄弟姉妹」(81.1%)「子供・その配偶者」(80.5%)、で表2の男性の「結婚満足感の高いグループA」に属する割合80.9%と比較してもほぼ同水準以上となっている。

また、「専門機関」を頼りにしている人も平均以下ではあるが、「結婚満足感の高いグループA」に属する割合が76.3%と「友人や職場の同僚」(61.9%)、「近所の人」(60.0%)を頼りにする人の

割合より高いのは消費者金融に対する意識が明るくかつ日常的になってきた現代の特徴であろうか。

女性の場合も表 18-②によると、急にお金(30 万円程度)を借りなければならぬとき頼りにする人は「配偶者」が 39.3%で最も多く、次いで「親・兄弟姉妹」(29.8%)、「子供・その配偶者」(12.1%)、「専門機関」(11.2%)の順で「その他の親族」「友人や職場の同僚」、「近所の人」、等は非常に少ない。すなわち圧倒的にいわゆる親族が頼りにされているが「専門機関」も上位に入っているところが他の項目と異なる点である。

表 18-①で「頼りにする人」別に「結婚満足感の高いグループA」に属する割合を見てみると、「配偶者」が 66.5%と最も高く、以下度数が少ない「その他の親族」「友人や職場の同僚」「近所の人」等を別にすると、「子供・その配偶者」(46.3%)、「親・兄弟姉妹」(43.7%)となっており、表 2 の女性の「結婚満足感が高いグループA」に属する割合 50.4%を上回っているのは「配偶者」の 66.5%のみで、女性の場合は金銭的な問題については「配偶者」を頼りに出来る人が他と比較して圧倒的に「結婚満足感の高いグループA」に属する割合が高いのは、女性の生活力とのからみであろうか。

iii. 病気や事故等でどうしても人手が必要とき《表 19-①②. 病気や事故等でどうしても人手が必要とき頼りにする人と結婚満足感(その①②)》

男性の場合は表 19-②によると、「病気や事故等でどうしても人手が必要とき頼りにする人」は「配偶者」が 40.0%で最も多く、次いで「親・兄弟姉妹」(23.7%)、「子供・その配偶者」(16.7%)、「友人や職場の同僚」(6.1%)「専門家やサービス機関」(5.3%)「その他の親族」(5.1%)、「近所の人」(3.1%)の順であり、圧倒的に「配偶者」「親・兄弟姉妹」と「子供・その配偶者」のいわゆる親族が頼りにされており、「友人や職場の同僚」以下のところは度数が小さく「結婚満足感」別の分析の対象にはなりにくい。

なお、前問の場合と異なり「専門機関」を頼りにしている人が少ないのは、本問のような人手を必要とする「専門サービス機関」が有料であるため、金融の場合の金利と違って「人的サービス」については昔ながらの「お手伝いは無料」という意識が根強く残っており、有料の「専門サービス機関」が未だ定着していないのであろうと考える。

表 19-①で「病気や事故等でどうしても人手が必要とき頼りにする人」別に「結婚満足感の高いグループA」に属する割合を見てみると、「配偶者」が 84.7%と最も高く、以下度数が少ない「友人や職場の同僚」「専門家やサービス機関」「その他の親族」、「近所の人」等を別にすると、「親・兄弟姉妹」(83.6%)「子供・その配偶者」(83.1%)の順で、いずれも表 2 の男性の「結婚満足感が高いグループA」に属する割合 80.9%以上となっている。

女性の場合も表 19-②によると、「病気や事故等でどうしても人手が必要とき頼りにする人」は「配偶者」が 31.9%で最も多く、次いで「親・兄弟姉妹」(27.7%)、「子供・その配偶者」(21.6%)で、「友人や職場の同僚」「近所の人」「専門家やサービス機関」「その他の親族」については度数が

低くて「結婚満足感」別の分析の対象にはなりにくい。

すなわち男性の場合も同様であるが、こうした「人のたすけ」を必要とする場合には「配偶者」「親・兄弟姉妹」と「子供・その配偶者」といった身近な親族との親和感が根底にあって頼りにされているものと思われる。

表 19-①で「頼りにする人」別に「結婚満足感の高いグループA」に属する割合を見てみると、「配偶者」が 63.7%と高い割合を示しているが、以下度数が少ない「友人や職場の同僚」「専門家やサービス機関」「近所の人」「その他の親族」を別にすると、「親・兄弟姉妹」(49.5%)「子供・その配偶者」(48.4%)の順であるが、いずれも表 2 の女性の「結婚満足感が高いグループA」に属する割合 50.4%に満たない。

iv. 仮に寝たきりなど介護を必要とするとき《表 20-①②. 寝たきりなど介護を必要とするとき 頼りにする人と結婚満足感(その①②)》

男性の場合は表 20-②によると、「寝たきりなど介護を必要とするとき頼りにする人」は「配偶者」が 53.4%で最も多く、次いで「子供・その配偶者」(18.8%)、「親・兄弟姉妹」(11.4%)、「専門家やサービス機関」(12.7%)で、あとは「その他の親族」(1.3%)「近所の人」(1.0%)「友人や職場の同僚」(0.5%)の順であり、圧倒的に「配偶者」と「子供・その配偶者」「親・兄弟姉妹」のいわゆる親族が頼りにされているが、専門の介護機関が公・私立を問わず有料・無料含めて一般化してきたこともあり「専門家やサービス機関」も頼りにされつつある。しかし「その他の親族」「友人や職場の同僚」以下のところは度数が小さく「結婚満足感」別の分析対象にはなりにくい。

表 20-①で「頼りにする人」別に「結婚満足感の高いグループA」に属する割合を見てみると、「子供・その配偶者」が 85.0%、「配偶者」が 84.6%、「親・兄弟姉妹」が 81.6%と高い割合を示し、「専門家やサービス機関」を頼りにする人も 82.5%と、表 2 の男性の「結婚満足感が高いグループA」に属する割合 80.9%以上となっている。

女性の場合は表 20-②によると、「寝たきりなど介護を必要とするとき頼りにする人」は「配偶者」が 35.9%で最も多く、次いで「子供・その配偶者」(25.4%)、「親・兄弟姉妹」(16.6%)、「専門家やサービス機関」(16.1%)で、あとは「友人や職場の同僚」(1.8%)「その他の親族」(1.5%)「近所の人」(1.0%)の順であり、男性の場合と同様に圧倒的に「配偶者」と「子供・その配偶者」「親・兄弟姉妹」のいわゆる親族を頼りにしているが、「専門家やサービス機関」も頼りにされつつある。しかし「友人や職場の同僚」「その他の親族」「近所の人」のところは度数が小さく「結婚満足感」別の分析対象にはなりにくい。

表 20-①で「頼りにする人」別に「結婚満足感の高いグループA」に属する割合を見てみると、「配偶者」が 61.8%、「子供・その配偶者」が 50.5%と表 2 の女性の「結婚満足感が高いグループA」に属する割合(50.4%)以上となっているが、「親・兄弟姉妹」の場合は 48.4%とそれを下回っている。また「専門家やサービス機関」を頼りにする人も 48.8%とかなりそれを頼りにする人が増えて来てはいるがやはり高い「結婚満足感」とは結びつきにくい現状であるようだ。

<ひとの助けを必要とする場合頼りにする人と、結婚満足感との関係についての総括>

④. 上記4通りのひとの助けを求めるケースの場合に誰をたよりにするかといった視点で整理してみると、いずれのケースも圧倒的に「配偶者」(男・女とも4ケース全て1位)であり、次いで「親・兄弟姉妹」(男性 2位-2ケース 3位-2ケース、女性 2位-3ケース 3位-1ケース)、「子ども・その配偶者」(男性 2位-1ケース 3位-2ケース 女性 2位-1ケース 3位-2ケース)の順で、全ケースのうちこれら以外に、ベスト3に入ったのは「友人や職場の同僚」が「問題を抱えて落ち込んだとき頼りにする人」のケースで 2位に入ったのみであり、あらためて家族の絆(親和感に通ずる)の強さを感じさせる。

⑤. 「結婚満足感の高いグループA」に属する割合という観点からみると、「配偶者」が男・女とも4ケース全てについて最も高い率を示しており、「親・兄弟姉妹」が3ケースにおいて2位と1ケースにおいて3位の率を示し、「子ども・その配偶者」が1ケースにおいて2位と3ケースにおいて3位といった具合に、「いざという場合に家族を頼りにできる(家族の親和感がある)こと」と「結婚満足感」とは総合的に見て相関関係があると見てよいのではないかと考える。

4. 結語と今後の課題

以上、NFR(1999.1)本調査の膨大な資料から1998年8月予備調査時の拙稿「両性の結婚満足感の視座」において事後の課題とした「家族や親族および第三者とのかかわりと結婚満足感との関係」の中から、主として「家族の親和感と結婚満足感の関係」について分析を試みた。

<分析結果の総括>

i. 最初に得られた印象深いデータとしては、「結婚満足感の高いグループ」に属する比率で男女間の開きがあまりに大きいということである。(男性—80.9%、女性—50.4%)

これは、日常生活面において未だ「男性は外に向けて活動し、女性は家庭を守る」といった男女の分業型社会から1990年代に芽生え、ここ数年来世界的に盛り上がりつつある「男女共同参画社会」(ジェンダー)への気運について男女間の意識の中になんかのギャップが残っていることによるのではないかと思うのは筆者の偏見であろうか。

ii. 前段で行った夫婦の生活基盤とする6項目(①年齢②学歴③職業④本人年収⑤世帯年収⑥健康状態)と結婚満足感の関係については、各項目とも「結婚満足感」との間に何らかの相関関係がみとめられると思われる。

「結婚満足感の高いグループ」に属する割合で述べると①年齢では男女とも40歳台をボトムとしており、男性は社会的に責任が重い時期であり、女性は子供の教育に負担がかかる時期と一致する。②学歴については男女とも総じて高学歴の人が高い割合を示している。③職業においては総じて管理職・専門技術者等ホワイトカラーの人の結婚満足感が高く④⑤の年収についても収入の高い人の結婚満足感が高いが、ある程度のレベルを超えるとあまり顕著な差はないようである。⑥健康状態との関係ではかなりの相関関係が認められ、特に女性の場合は高くみとめられる。

iii. 後段の夫婦や家族の親和感を醸成すると考えられる項目では、

⑦子供とのかかわりについては男性より女性のほうが高い傾向にあるが、いずれも思いのほか少ない。(週1回以上子供と共にする人は4項目の平均で男性 44.1%、女性 52.9%にすぎない)。

「結婚満足感との関係」でみると男女とも「一緒に夕食をとる」ことは、あまり相関関係はないように見られるが、それ以外は子供とのかかわりが多い方が高いという傾向がみとめられ、諸般の事情により子供と接触する機会が減少したとはいえ、親子の接触が家族ならびに夫婦の親和感を増し結婚満足感に結びついている可能性がある。

⑧親(実父母・義父母)との関係については男女とも「概ねよい」と答えている人の割合が高く(男性は実父母・義父母のいずれとも95%前後、女性は 実父母:92~96%、義父母:82~84%台)で、総じて親との間の親和感は保たれているとみられる。

「結婚満足感との関係」では実父母については男性はやや相関関係があり、女性は父親との関係ではやや相関関係があるが、母親との関係は結婚満足感には影響を及ぼしていないようである。義父母との関係においては男性ではやや相関関係がみとめられ、女性においてはかなり相関関係があるようである。ここにも女性の家庭を守る役割との関係が垣間見られるが、ジェンダーフリーの進行と共に変化が見られるであろうか引き続き注視していきたい。

⑨ひとの助けを必要とする場合たよりにする人は、男女とも圧倒的に配偶者・親・兄弟姉妹・子ども・子どもの配偶者といった親族であり、核家族化・個人主義化が進行し、一方で老人介護施設等専門的な支援センターや施設が出来て幾分たよりにすることも出て来てはいるが、夫婦や家族への親和感は、今なお根強く残っていることがわかった。また、「結婚満足感の高いグループ」に属する割合でも高い順で「配偶者」「子ども・その配偶者」「親・兄弟姉妹」となっており家族・親族を頼りにする人はそうでない人と比べて圧倒的に高い。

iv 今後の課題

今回の分析では各項目ごとに結婚満足感との関係について単純クロス集計を行なった。その結果、現代社会において夫婦・家族の親和感はなお大きな意義を持つことが分かった。

次回は更に各項目相互間の関係をクロス集計・分析してみたい。

参 考 文 献

湯沢雍彦, 1987, 「夫婦の幸福度」『新しい家族学』 光生館。

稲葉昭英, 1995, 「どんな男性が家事・育児をするのか?—社会階層と男性の家事・育児参加—」『階層と結婚・家族』 渡辺秀樹・志田基与師編 1995年SSM調査研究会シリーズ 15, 1—42。

大熊道明, 1993, 「夫婦・家族システムの円環モデル—調査 : 理論および実践の統合をめざして— D. オルソン(Olson, D. H.) の場合」『ライフコースと世代—現代家族論再考—』 森岡清美・青井和夫編著, 垣内出版, 271—281。

立木茂男, 1999, 「オルソンの円環モデル妥当性の検討」『家族システムの理論的・実証的研究』 川島書店, 2—34, 85, 142—149, 165—186, 188—197。

(ももせ やすこ・東京家政大学)

表1 配偶者への結婚生活全体の満足感集計

区分	a かなり満足		b どちらかといえ ば満足		c どちらかといばえ 不満足		d かなり不満足		合計(a+b+c+d)	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
男性	921	33.4%	1617	58.7%	157	5.7%	60	2.2%	2755	100.0%
女性	570	20.2%	1692	60.0%	393	13.9%	167	5.9%	2822	100.0%
合計	1491	26.7%	3309	59.3%	550	9.9%	227	4.1%	5577	100.0%

(註) 該当無し 100人

表2 結婚満足感分析対象者

区分	結婚満足感の高いグ ループA(=a)		結婚満足感の低い グループB(=c+d)		合計(A+B)	
	度数	%	度数	%	度数	%
男性	921	80.9%	217	19.1%	1138	100.0%
女性	570	50.4%	560	49.6%	1130	100.0%
合計	1491	65.7%	777	34.3%	2268	100.0%

表3 結婚満足感分析対象者の年齢

年齢	男性		女性		計	
	度数	%	度数	%	度数	%
20代	34	3.0%	39	3.5%	73	3.2%
30代	199	17.5%	246	21.8%	445	19.6%
40代	237	20.8%	250	22.1%	487	21.5%
50代	275	24.2%	280	24.8%	555	24.5%
60代	255	22.4%	221	19.6%	476	21.0%
70代	138	12.1%	94	8.3%	232	10.2%
合計	1,138	100.0%	1,130	100.0%	2,268	100.0%

表4 結婚満足感分析対象者の学歴

学歴	男性		女性		計	
	度数	%	度数	%	度数	%
義務教育	242	21.5%	251	22.5%	493	22.0%
旧制中学 新制高校	430	38.3%	504	45.2%	934	41.7%
各種専門 学校	46	4.1%	88	7.9%	134	6.0%
新制短大・ 旧制高等	66	5.9%	188	16.9%	254	11.3%
大学以上	334	29.7%	76	6.8%	410	18.3%
その他	6	0.5%	7	0.6%	13	0.6%
合計	1,124	100.0%	1,114	100.0%	2,238	100.0%

欠損 30(1.3%) 男性 14(1.2%) 女性 16(1.4%)

表5 結婚満足感分析対象者本人の職業形態

職業形態	男性		女性		計	
	度数	%	度数	%	度数	%
技能・労務・作業	395	34.9%	236	22.6%	631	29.0%
事務・営業系	173	15.3%	260	24.9%	433	19.9%
販売・サービス	160	14.1%	343	32.8%	503	23.1%
専門技術	177	15.6%	146	14.0%	323	14.8%
管理職業	177	15.6%	12	1.1%	189	8.7%
農林漁業	48	4.2%	48	4.6%	96	4.4%
その他	1	0.1%	1	0.1%	2	0.1%
計	1,131	100.0%	1,046	100.0%	2,177	100.0%

欠損 91(4.0%) 男性 14(1.2%) 女性 16(1.4%)

表6 結婚満足感分析対象者本人の年収

本人年収 (単位万円)	男性		女性		計	
	度数	%	度数	%	度数	%
収入なし	8	0.7%	277	24.9%	285	12.8%
100未満	45	4.0%	406	36.5%	451	20.2%
100～199台	83	7.4%	187	16.8%	270	12.1%
200～399台	246	21.9%	151	13.6%	397	17.8%
400～599台	298	26.5%	61	5.5%	359	16.1%
600～799台	215	19.1%	13	1.2%	228	10.2%
800～999台	126	11.2%	5	0.4%	131	5.9%
1000以上	102	9.1%	12	1.1%	109	4.9%
合計	1,123	100.0%	1,112	100.0%	2,230	100.0%

欠損 38(1.7%) 男性(15(1.3%) 女性 (23(2.0%))

表7 結婚満足感分析対象者の世帯年収

世帯年収 (単位万円)	男性		女性		計	
	度数	%	度数	%	度数	%
収入なし	1	0.1%	4	0.4%	5	0.2%
200未満	43	3.8%	46	4.2%	89	4.0%
200～399台	150	13.4%	170	15.5%	320	14.4%
400～599台	214	19.1%	229	20.8%	443	19.9%
600～799台	223	19.9%	208	18.9%	431	19.4%
800～999台	173	15.4%	123	11.2%	296	13.3%
1000～1199台	117	10.4%	98	8.9%	215	9.7%
1200万円以上	164	14.6%	118	10.7%	282	12.7%
わからない	37	3.3%	104	9.5%	141	6.3%
合計	1,122	100.0%	1,100	100.0%	2,222	100.0%

欠損 46(2.0%) 男性16(1.4%) 女性 30(2.7%)

表8 結婚満足感と年齢

年齢	結婚満足感の高いグループA						結婚満足感の低いグループB						合計(A+B)					
	男性		女性		計		男性		女性		計		男性		女性		計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
20代	33	97.1%	27	69.2%	60	82.2%	1	2.9%	12	30.8%	13	17.8%	34	100.0%	39	100.0%	73	100.0%
30代	174	87.4%	123	50.0%	297	66.7%	25	12.6%	123	50.0%	148	33.3%	199	100.0%	246	100.0%	445	100.0%
40代	180	75.9%	106	42.4%	286	58.7%	57	24.1%	144	57.6%	201	41.3%	237	100.0%	250	100.0%	487	100.0%
50代	214	77.8%	138	49.3%	352	63.4%	61	22.2%	142	50.7%	203	36.6%	275	100.0%	280	100.0%	555	100.0%
60台	203	79.6%	124	56.1%	327	68.7%	52	20.4%	97	43.9%	149	31.3%	255	100.0%	221	100.0%	476	100.0%
70代	117	84.8%	52	55.3%	169	72.8%	21	15.2%	42	44.7%	63	27.2%	138	100.0%	94	100.0%	232	100.0%
合計	921	80.9%	570	50.4%	1,491	65.7%	217	19.1%	560	49.6%	777	34.3%	1,138	100.0%	1,130	100.0%	2,268	100.0%

表9 結婚満足感と学歴

学歴	結婚満足感の高いグループA						結婚満足感の低いグループB						合計(A+B)					
	男性		女性		計		男性		女性		計		男性		女性		計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
義務教育	178	73.6%	120	47.8%	298	60.4%	64	26.4%	131	52.2%	195	39.6%	242	100.0%	251	100.0%	493	100.0%
旧制中学 新制高校	345	80.2%	239	47.4%	584	62.5%	85	19.8%	265	52.6%	350	37.5%	430	100.0%	504	100.0%	934	100.0%
各種専門学校	37	80.4%	41	46.6%	78	58.2%	9	19.6%	47	53.4%	56	41.8%	46	100.0%	88	100.0%	134	100.0%
新制短大・旧制高等	55	83.3%	111	59.0%	166	65.4%	11	16.7%	77	41.0%	88	34.6%	66	100.0%	188	100.0%	254	100.0%
大学以上	290	86.8%	47	61.8%	337	82.2%	44	13.2%	29	38.2%	73	17.8%	334	100.0%	76	100.0%	410	100.0%
その他	5	83.3%	3	42.9%	8	61.5%	1	16.7%	4	57.1%	5	38.5%	6	100.0%	7	100.0%	13	100.0%
合計	910	81.0%	561	50.4%	1,471	65.7%	214	19.0%	553	49.6%	767	34.3%	1,124	100.0%	1,114	100.0%	2,238	100.0%

欠損 30(1.3%) 男性 14(1.2%) 女性16(1.4%)

表10 結婚満足感と本人職業形態

職業形態	結婚満足感の高いグループA						結婚満足感の低いグループB						合計(A+B)					
	男性		女性		計		男性		女性		計		男性		女性		計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
技能・労務・作業	305	77.2%	111	47.0%	416	65.9%	90	22.8%	125	53.0%	215	34.1%	395	100.0%	236	100.0%	631	100.0%
事務・営業系	144	83.2%	148	56.9%	292	67.4%	29	16.8%	112	43.1%	141	32.6%	173	100.0%	260	100.0%	433	100.0%
販売・サービス	127	79.4%	136	39.7%	263	52.3%	33	20.6%	207	60.3%	240	47.7%	160	100.0%	343	100.0%	503	100.0%
専門技術	151	85.3%	88	60.3%	239	74.0%	26	14.7%	58	39.7%	84	26.0%	177	100.0%	146	100.0%	323	100.0%
管理職業	155	87.6%	8	66.7%	163	86.2%	22	12.4%	4	33.3%	26	13.8%	177	100.0%	12	100.0%	189	100.0%
農林漁業	35	72.9%	24	50.0%	59	61.5%	13	27.1%	24	50.0%	37	38.5%	48	100.0%	48	100.0%	96	100.0%
その他	1	100.0%	1	100.0%	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	1	100.0%	2	100.0%
計	918	81.2%	516	49.3%	1,434	65.9%	213	18.8%	530	50.7%	743	34.1%	1,131	100.0%	1,046	100.0%	2,177	100.0%

欠損 91(4.0%) 男性 7(0.6%) 女性 84(7.4%)

表11 結婚満足感と本人年収

本人年収 (単位万円)	結婚満足感の高いグループA						結婚満足感の低いグループB						合計(A+B)					
	男性		女性		計		男性		女性		計		男性		女性		計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
収入なし	3	37.5%	152	54.9%	155	54.4%	5	62.5%	125	45.1%	130	45.6%	8	100.0%	277	100.0%	285	100.0%
100未満	32	71.1%	199	49.0%	231	51.2%	13	28.9%	207	51.0%	220	48.8%	45	100.0%	406	100.0%	451	100.0%
100～199台	55	66.3%	92	49.2%	147	54.4%	28	33.7%	95	50.8%	123	45.6%	83	100.0%	187	100.0%	270	100.0%
200～399台	197	80.1%	71	47.0%	268	67.5%	49	19.9%	80	53.0%	129	32.5%	246	100.0%	151	100.0%	397	100.0%
400～599台	246	82.6%	33	54.1%	279	77.7%	52	17.4%	28	45.9%	80	22.3%	298	100.0%	61	100.0%	359	100.0%
600～799台	184	85.6%	2	15.4%	186	81.6%	31	14.4%	11	84.6%	42	18.4%	215	100.0%	13	100.0%	228	100.0%
800～999台	717	96.8%	549	99.8%	106	80.9%	24	3.2%	1	0.2%	25	19.1%	741	100.0%	550	100.0%	131	100.0%
1000以上	88	86.3%	5	71.4%	93	85.3%	14	13.7%	2	28.6%	16	14.7%	102	100.0%	7	100.0%	109	100.0%
合計	1,522	87.6%	1,103	66.8%	1,465	65.7%	216	12.4%	549	33.2%	765	34.3%	1,738	100.0%	1,652	100.0%	2,230	100.0%

欠損 38(1.7%) 男性 15(1.3%) 女性 23(2.0%)

表12 結婚満足感と世帯年収

世帯年収 (単位万円)	結婚満足感の高いグループA						結婚満足感の低いグループB						合計(A+B)					
	男性		女性		計		男性		女性		計		男性		女性		計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
収入なし	1	100.0%	2	50.0%	3	60.0%	0	0.0%	2	50.0%	2	40.0%	1	100.0%	4	100.0%	5	100.0%
200万未満	27	62.8%	18	39.1%	45	50.6%	16	37.2%	28	60.9%	44	49.4%	43	100.0%	46	100.0%	89	100.0%
200～399台	113	75.3%	71	41.8%	184	57.5%	37	24.7%	99	58.2%	136	42.5%	150	100.0%	170	100.0%	320	100.0%
400～599台	179	83.6%	108	47.2%	287	64.8%	35	16.4%	121	52.8%	156	35.2%	214	100.0%	229	100.0%	443	100.0%
600～799台	186	83.4%	104	50.0%	290	67.3%	37	16.6%	104	50.0%	141	32.7%	223	100.0%	208	100.0%	431	100.0%
800～999台	140	80.9%	67	54.5%	207	69.9%	33	19.1%	56	45.5%	89	30.1%	173	100.0%	123	100.0%	296	100.0%
1000～1199台	95	81.2%	51	52.0%	146	67.9%	22	18.8%	47	48.0%	69	32.1%	117	100.0%	98	100.0%	215	100.0%
1200万円以上	140	85.4%	72	61.0%	212	75.2%	24	14.6%	46	39.0%	70	24.8%	164	100.0%	118	100.0%	282	100.0%
わからない	26	70.3%	63	60.6%	89	63.1%	11	29.7%	41	39.4%	52	36.9%	37	100.0%	104	100.0%	141	100.0%
合計	907	80.8%	556	50.5%	1,463	65.8%	215	19.2%	544	49.5%	759	34.2%	1,122	100.0%	1,100	100.0%	2,222	100.0%

欠損 46(2.0%) 男性 16(1.4%) 女性 30(2.7%)

表13 結婚満足感と健康状態(この1年間)

健康状態	結婚満足感の高いグループA						結婚満足感の低いグループB						合計(A+B)					
	男性		女性		計		男性		女性		計		男性		女性		計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
たいへん良好	168	89.4%	96	68.1%	264	80.2%	20	10.6%	45	31.9%	65	19.8%	188	100.0%	141	100.0%	329	100.0%
まあ良好	524	83.7%	334	55.8%	858	70.0%	102	16.3%	265	44.2%	367	30.0%	626	100.0%	599	100.0%	1,225	100.0%
どちらとも 言えない	101	73.2%	58	32.2%	159	50.0%	37	26.8%	122	67.8%	159	50.0%	138	100.0%	180	100.0%	318	100.0%
やや悪い	86	66.7%	60	36.1%	146	49.5%	43	33.3%	106	63.9%	149	50.5%	129	100.0%	166	100.0%	295	100.0%
大変悪い	23	71.9%	11	47.8%	34	61.8%	9	28.1%	12	52.2%	21	38.2%	32	100.0%	23	100.0%	55	100.0%
合計	902	81.0%	559	50.4%	1,461	65.8%	211	19.0%	550	49.6%	761	34.2%	1,113	100.0%	1,109	100.0%	2,222	100.0%

欠損 46(2.0%) 男性 25(2.2%) 女性 21(1.9%)

子どもとのかかわり

表14-①子供と夕食を共にすることと結婚満足感

子供と夕食を共にする回数	結婚満足感の高いグループA						結婚満足感の低いグループB						合計(A+B)					
	男性		女性		計		男性		女性		計		男性		女性		計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
週1回以上	605	80.1%	400	50.2%	1,005	65.1%	147	19.9%	442	49.8%	589	34.9%	752	100.0%	842	100.0%	1,594	100.0%
年に数回以下	221	79.2%	123	61.5%	344	71.8%	58	20.8%	77	38.5%	135	28.2%	279	100.0%	200	100.0%	479	100.0%
合計	826	80.1%	523	50.2%	1,349	65.1%	205	19.9%	519	49.8%	724	34.9%	1,031	100.0%	1,042	100.0%	2,073	100.0%

欠損 195(8.6%) 男性 (107(9.4%) 女性 88(7.8%))

表14-②子どもと趣味・スポーツ・ゲームなどを一緒に楽しむことと結婚満足感

子供と趣味・スポーツ等を楽しむ回数	結婚満足感の高いグループA						結婚満足感の低いグループB						合計(A+B)					
	男性		女性		計		男性		女性		計		男性		女性		計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
週1回以上	285	84.8%	198	53.7%	483	68.5%	51	15.2%	171	46.3%	222	31.5%	336	100.0%	369	100.0%	705	100.0%
年に数回以下	535	77.9%	322	48.3%	857	63.3%	152	22.1%	345	51.7%	497	36.7%	687	100.0%	667	100.0%	1,354	100.0%
合計	820	80.2%	520	50.2%	1,340	65.1%	203	19.8%	516	49.8%	719	34.9%	1,023	100.0%	1,036	100.0%	2,059	100.0%

欠損 209(9.2%) 男性 106(9.3%) 女性 94(8.3%)

表14-③子どもと一緒に外出することと結婚満足感

子供と外出をする回数	結婚満足感の高いグループA						結婚満足感の低いグループB						合計(A+B)					
	男性		女性		計		男性		女性		計		男性		女性		計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
週1回以上	355	85.1%	272	51.5%	627	66.3%	62	14.9%	256	48.5%	318	33.7%	417	100.0%	528	100.0%	945	100.0%
年に数回以下	467	85.1%	249	51.5%	716	66.3%	143	14.9%	259	48.5%	402	33.7%	610	100.0%	508	100.0%	1,118	100.0%
合計	822	80.0%	521	50.3%	1,343	65.1%	205	20.0%	515	49.7%	720	34.9%	1,027	100.0%	1,036	100.0%	2,063	100.0%

欠損 205(9.0%) 男性 111(9.8%) 女性94(8.3%)

表14-④子どもに知識や技能(勉強や料理など)を教える程度と結婚満足感

子供に知識や技能を教える回数	結婚満足感の高いグループA						結婚満足感の低いグループB						合計(A+B)					
	男性		女性		計		男性		女性		計		男性		女性		計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
週1回以上	274	86.2%	246	53.8%	520	67.1%	44	13.8%	211	46.2%	255	32.9%	318	100.0%	457	100.0%	775	100.0%
年に数回以下	549	77.5%	274	47.5%	823	64.0%	159	22.5%	303	52.5%	462	36.0%	708	100.0%	577	100.0%	1,285	100.0%
合計	823	80.2%	520	50.3%	1,343	65.2%	203	19.8%	514	49.7%	717	34.8%	1,026	100.0%	1,034	100.0%	2,060	100.0%

欠損 208(9.2%) 男性 110(9.7%) 女性96(8.5%)

表14—⑤子供と一緒に行動する頻度と結婚満足感(その①)

項目	満足感の高いグループ A						満足感の低いグループ B						合計					
	男性		女性		計		男性		女性		計		男性		女性		計	
①いっしょに夕食をとる	605	80.5%	400	47.5%	1,005	63.0%	147	19.5%	442	52.5%	589	37.0%	752	100.0%	842	100.0%	1,594	100.0%
②スポーツなどを一緒に楽しむ	285	84.8%	198	53.7%	483	68.5%	51	15.2%	171	46.3%	222	31.5%	336	100.0%	369	100.0%	705	100.0%
③いっしょに外出する	355	85.1%	272	51.5%	627	66.3%	62	14.9%	256	48.5%	318	33.7%	417	100.0%	528	100.0%	945	100.0%
④知識や技能を教える	274	86.2%	246	53.8%	520	67.1%	44	13.8%	211	46.2%	255	32.9%	318	100.0%	457	100.0%	775	100.0%
計(週1回以上) a	1,519	83.3%	1,116	50.8%	2,635	65.6%	304	16.7%	1,080	49.2%	1,384	34.4%	1,823	100.0%	2,196	100.0%	4,019	100.0%
①いっしょに夕食をとる	221	79.2%	123	61.5%	344	71.8%	58	20.8%	77	38.5%	135	28.2%	279	100.0%	200	100.0%	479	100.0%
②スポーツなどを一緒に楽しむ	535	77.9%	322	48.3%	857	63.3%	152	22.1%	345	51.7%	497	36.7%	687	100.0%	667	100.0%	1,354	100.0%
③いっしょに外出する	467	577.0%	249	49.0%	716	64.0%	143	23.4%	259	51.0%	402	36.0%	610	100.0%	508	100.0%	1,118	100.0%
④知識や技能を教える	549	77.5%	274	47.5%	823	64.0%	159	22.5%	303	52.5%	462	36.0%	708	100.0%	577	100.0%	1,285	100.0%
計(年に数回以下) b	1,772	77.6%	968	49.6%	2,740	64.7%	512	22.4%	984	50.4%	1,496	35.3%	2,284	100.0%	1,952	100.0%	4,236	100.0%
合計 a+b	3,291	80.1%	2,084	50.2%	5,375	65.1%	816	19.9%	2,064	49.8%	2,880	34.9%	4,107	100.0%	4,148	100.0%	8,255	100.0%

表14—⑥子供と一緒に行動する頻度と結婚満足感(その②)

項目	週に1回以上						年に数回以下						合計					
	男性		女性		計		男性		女性		計		男性		女性		計	
①いっしょに夕食をとる	605	73.2%	400	76.5%	1,005	74.5%	221	26.8%	123	23.5%	344	25.5%	826	100.0%	523	100.0%	1,349	100.0%
②スポーツなどを一緒に楽しむ	285	34.8%	198	38.1%	483	36.0%	535	65.2%	322	61.9%	857	64.0%	820	100.0%	520	100.0%	1,340	100.0%
③いっしょに外出する	355	43.2%	272	52.2%	627	46.7%	467	56.8%	249	47.8%	716	53.3%	822	100.0%	521	100.0%	1,343	100.0%
④知識や技能を教える	274	33.3%	246	47.3%	520	38.7%	549	66.7%	274	52.7%	823	61.3%	823	100.0%	520	100.0%	1,343	100.0%
計(満足感の高いグループ A)	1,519	46.2%	1,116	53.6%	2,635	49.0%	1,772	53.8%	968	46.4%	2,740	51.0%	3,291	100.0%	2,084	100.0%	5,375	100.0%
①いっしょに夕食をとる	147	71.7%	442	85.2%	589	81.4%	58	28.3%	77	14.8%	135	18.6%	205	100.0%	519	100.0%	724	100.0%
②スポーツなどを一緒に楽しむ	51	25.1%	171	33.1%	222	30.9%	152	74.9%	345	66.9%	497	69.1%	203	100.0%	516	100.0%	719	100.0%
③いっしょに外出する	62	30.2%	256	49.7%	318	44.2%	143	69.8%	259	50.3%	402	55.8%	205	100.0%	515	100.0%	720	100.0%
④知識や技能を教える	44	21.7%	211	41.1%	255	35.6%	159	78.3%	303	58.9%	462	64.4%	203	100.0%	514	100.0%	717	100.0%
計(満足感の低いグループ B)	304	37.3%	1,080	52.3%	1,384	48.1%	512	62.7%	984	47.7%	1,496	51.9%	816	100.0%	2,064	100.0%	2,880	100.0%
合計 a+b	1,823	44.4%	2,196	52.9%	4,019	48.7%	2,284	55.6%	1,952	47.1%	4,236	51.3%	4,107	100.0%	4,148	100.0%	8,255	100.0%

表15—①父母との関係と結婚満足感(その①)

父母との関係 の状況	結婚満足感の高いグループA						結婚満足感の低いグループB						合計(A+B)					
	男性		女性		計		男性		女性		計		男性		女性		計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
良好	239	89.8%	164	55.0%	403	71.5%	27	10.2%	134	45.0%	161	28.5%	266	100.0%	298	100.0%	564	100.0%
どちらかといえ ば良好	68	68.0%	36	37.5%	104	53.1%	32	32.0%	60	62.5%	92	46.9%	100	100.0%	96	100.0%	196	100.0%
どちらかといえ ば悪い	8	66.7%	7	33.3%	15	45.5%	4	33.3%	14	66.7%	18	54.5%	12	100.0%	21	100.0%	33	100.0%
悪い	5	71.4%	3	27.3%	8	44.4%	2	28.6%	8	72.7%	10	55.6%	7	100.0%	11	100.0%	18	100.0%
計(父親との関係)	320	83.1%	210	49.3%	530	65.4%	65	16.9%	216	50.7%	281	34.6%	385	100.0%	426	100.0%	811	100.0%
良好	370	86.7%	262	52.7%	632	68.4%	57	13.3%	235	47.3%	292	31.6%	427	100.0%	497	100.0%	924	100.0%
0	109	465.7%	47	38.8%	156	58.0%	39	26.4%	74	61.2%	113	42.0%	148	100.0%	121	100.0%	269	100.0%
どちらかといえ ば悪い	10	50.0%	6	42.9%	16	47.1%	10	50.0%	8	57.1%	18	52.9%	20	100.0%	14	100.0%	34	100.0%
悪い	3	42.9%	1	14.3%	4	28.6%	4	57.1%	6	85.7%	10	71.4%	7	100.0%	7	100.0%	14	100.0%
計(母親との関係)	492	81.7%	316	49.5%	808	65.1%	110	18.3%	323	50.5%	433	34.9%	602	100.0%	639	100.0%	1,241	100.0%

欠損 父親との関係 1457(45.3%) 男性 753(66.1%) 女性 704(62.3%)

母親との関係 1022(45.1%) 男性 536(47.1%) 女性 491(43.5%)

表15—②父母との関係と結婚満足感(その②)

父母との関係 の状況	満足感の高いグループA						結婚満足感の低いグループB						合計(A+B)					
	男性		女性		計		男性		女性		計		男性		女性		計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
概ねよい	307	83.9%	200	50.8%	507	66.7%	59	16.1%	194	49.2%	253	33.3%	366	100.0%	394	100.0%	760	100.0%
概ねよくない	13	68.4%	10	31.3%	23	45.1%	6	31.6%	22	68.8%	28	54.9%	19	100.0%	32	100.0%	51	100.0%
計(父親との関係)	320	83.1%	210	49.3%	530	65.4%	65	16.9%	216	50.7%	281	34.6%	385	100.0%	426	100.0%	811	100.0%
概ねよい	479	83.3%	309	50.0%	788	66.1%	96	16.7%	309	50.0%	405	33.9%	575	100.0%	618	100.0%	1,193	100.0%
概ねよくない	13	48.1%	7	33.3%	20	41.7%	14	51.9%	14	66.7%	28	58.3%	27	100.0%	21	100.0%	48	100.0%
計(母親との関係)	492	81.7%	316	49.5%	808	65.1%	110	18.3%	323	50.5%	433	34.9%	602	100.0%	639	100.0%	1,241	100.0%

表15—③父母との関係と結婚満足感(その③)

父母との関係 の状況	満足感の高いグループA						結婚満足感の低いグループB						合計(A+B)					
	男性		女性		計		男性		女性		計		男性		女性		計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
概ねよい	307	95.9%	200	95.2%	507	95.7%	59	90.8%	194	89.8%	253	90.0%	366	95.1%	394	92.5%	760	93.7%
概ねよくない	13	4.1%	10	4.8%	23	4.3%	6	9.2%	22	10.2%	28	10.0%	19	4.9%	32	7.5%	51	6.3%
計(父親との関係)	320	100.0%	210	100.0%	530	100.0%	65	100.0%	216	100.0%	281	100.0%	385	100.0%	426	100.0%	811	100.0%
概ねよい	479	97.4%	309	97.8%	788	97.5%	96	87.3%	309	95.7%	405	93.5%	575	95.5%	618	96.7%	1,193	96.1%
概ねよくない	13	2.6%	7	2.2%	20	2.5%	14	12.7%	14	4.3%	28	6.5%	27	4.5%	21	3.3%	48	3.9%
計(母親との関係)	492	100.0%	316	100.0%	808	100.0%	110	100.0%	323	100.0%	433	100.0%	602	100.0%	639	100.0%	1,241	100.0%

表16-①義父母との関係と結婚満足感(その①)

義父母関係 との関係の状況	結婚満足感の高いグループA						結婚満足感の低いグループB						合計(A+B)					
	男性		女性		計		男性		女性		計		男性		女性		計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
	良好	273	88.6%	109	70.3%	382	82.5%	35	11.4%	46	29.7%	81	17.5%	308	100.0%	155	100.0%	463
どちらかといえ ば良好	67	62.0%	57	41.3%	124	50.4%	41	38.0%	81	58.7%	122	49.6%	108	100.0%	138	100.0%	246	100.0%
どちらかといえ ば悪い	4	33.3%	8	22.9%	12	25.5%	8	66.7%	27	77.1%	35	74.5%	12	100.0%	35	100.0%	47	100.0%
悪い	6	46.2%	7	30.4%	13	36.1%	7	53.8%	16	69.6%	23	63.9%	13	100.0%	23	100.0%	36	100.0%
計(義父との関係)	350	79.4%	181	51.6%	531	67.0%	91	20.6%	170	48.4%	261	33.0%	441	100.0%	351	100.0%	792	100.0%
良好	448	90.1%	172	70.8%	620	83.8%	49	9.9%	71	29.2%	120	16.2%	497	100.0%	243	100.0%	740	100.0%
どちらかといえ ば良好	92	39.7%	88	38.1%	180	48.1%	51	35.7%	143	61.9%	194	51.9%	143	100.0%	231	100.0%	374	100.0%
どちらかといえ ば悪い	4	30.8%	11	15.9%	15	18.3%	9	69.2%	58	84.1%	67	81.7%	13	100.0%	69	100.0%	82	100.0%
悪い	3	18.8%	7	20.6%	10	20.0%	13	81.3%	27	79.4%	40	80.0%	16	100.0%	34	100.0%	50	100.0%
計(義母との関係)	547	81.8%	278	48.2%	825	66.2%	122	18.2%	299	51.8%	421	33.8%	669	100.0%	577	100.0%	1,246	100.0%

欠損 義父との関係 1475(65.1%) 男性 697(61.2%) 女性 779(88.9%)

義母との関係 1022(45.1%) 男性 469(41.2%) 女性 553(58.9%)

表16-②義父母との関係と結婚満足感(その②)

義父母との関係 の状況	結婚満足感の高いグループA						結婚満足感の低いグループB						合計(A+B)					
	男性		女性		計		男性		女性		計		男性		女性		計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
	概ねよい	340	81.7%	103	44.8%	443	68.6%	76	18.3%	127	55.2%	203	31.4%	416	100.0%	230	100.0%	646
概ねよくない	10	40.0%	15	25.9%	25	30.1%	15	60.0%	43	74.1%	58	69.9%	25	100.0%	58	100.0%	83	100.0%
計(義父との関係)	350	79.4%	118	41.0%	468	64.2%	91	20.6%	170	59.0%	261	35.8%	441	100.0%	288	100.0%	729	100.0%
概ねよい	540	84.4%	260	54.9%	800	71.8%	100	15.6%	214	45.1%	314	28.2%	640	100.0%	474	100.0%	1114	100.0%
概ねよくない	7	24.1%	18	17.5%	25	18.9%	22	75.9%	85	82.5%	107	81.1%	29	100.0%	103	100.0%	132	100.0%
計(義母との関係)	547	81.8%	278	48.2%	825	66.2%	122	18.2%	299	51.8%	421	33.8%	669	100.0%	577	100.0%	1,246	100.0%

表16-③義父母との関係と結婚満足感(その③)

義父母との関係 の状況	結婚満足感の高いグループA						結婚満足感の低いグループB						合計(A+B)					
	男性		女性		計		男性		女性		計		男性		女性		計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
	概ねよい	340	97.1%	166	91.7%	506	95.3%	76	83.5%	127	74.7%	203	77.8%	416	94.3%	293	83.5%	709
概ねよくない	10	2.9%	15	8.3%	25	4.7%	15	16.5%	43	25.3%	58	22.2%	25	5.7%	58	16.5%	83	10.5%
計(義父との関係)	350	100.0%	181	100.0%	531	100.0%	91	100.0%	170	100.0%	261	100.0%	441	100.0%	351	100.0%	792	100.0%
概ねよい	540	98.7%	260	93.5%	800	97.0%	100	82.0%	214	71.6%	314	74.6%	640	95.7%	474	82.1%	1114	89.4%
概ねよくない	7	1.3%	18	6.5%	25	3.0%	22	18.0%	85	28.4%	107	25.4%	29	4.3%	103	17.9%	132	10.6%
計(義母との関係)	547	100.0%	278	100.0%	825	100.0%	122	100.0%	299	100.0%	421	100.0%	669	100.0%	577	100.0%	1,246	100.0%

表17-①問題を抱えて落ち込んだり混乱したとき頼りにする人と結婚満足感(その①)

頼りにする人	結婚満足感の高いグループA						結婚満足感の低いグループB						合計(A+B)					
	男性		女性		計		男性		女性		計		男性		女性		計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
配偶者	809	87.4%	515	65.6%	1,324	77.4%	117	12.6%	270	14.9%	387	22.6%	926	100.0%	785	100.0%	1,711	100.0%
親・兄弟姉妹	193	76.0%	165	43.4%	358	56.5%	61	24.0%	215	16.1%	276	43.5%	254	100.0%	380	100.0%	634	100.0%
子ども・その配偶者	122	83.0%	106	43.8%	228	58.6%	25	17.0%	136	10.3%	161	41.4%	147	100.0%	242	100.0%	389	100.0%
その他の親族	25	75.8%	20	48.8%	45	60.8%	8	24.2%	21	19.5%	29	39.2%	33	100.0%	41	100.0%	74	100.0%
友人や職場の同僚	202	76.8%	131	39.3%	333	55.9%	61	23.2%	202	18.3%	263	44.1%	263	100.0%	333	100.0%	596	100.0%
近所(地域)の人	24	80.0%	34	53.1%	58	61.7%	6	20.0%	30	9.4%	36	38.3%	30	100.0%	64	100.0%	94	100.0%
専門家やサービス機関(行政機関・家政婦等)	1,375	99.1%	971	98.4%	66	70.2%	12	0.9%	16	1.2%	28	29.8%	1,387	100.0%	987	100.0%	94	100.0%
誰もいない	20	47.6%	8	25.8%	28	38.4%	22	52.4%	23	71.0%	45	61.6%	42	100.0%	31	100.0%	73	100.0%
合計	2,770	89.9%	1,950	68.1%	2,440	66.6%	312	10.1%	913	10.9%	1,225	33.4%	3,082	100.0%	2,863	100.0%	3,665	100.0%

(註)回答が各人で複数なされている場合がある。

表17-②問題を抱えて落ち込んだり混乱したとき頼りにする人と結婚満足感(その②)

頼りにする人	結婚満足感の高いグループA						結婚満足感の低いグループB						合計(A+B)					
	男性		女性		計		男性		女性		計		男性		女性		計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
配偶者	809	56.0%	515	51.7%	1,324	54.3%	117	37.5%	270	29.6%	387	31.6%	926	52.7%	785	41.1%	1,711	46.7%
親・兄弟姉妹	193	13.4%	165	16.6%	358	14.7%	61	19.6%	215	23.5%	276	22.5%	254	14.5%	380	19.9%	634	17.3%
子ども・その配偶者	122	8.4%	106	10.6%	228	9.3%	25	8.0%	136	14.9%	161	13.1%	147	8.4%	242	12.7%	389	10.6%
その他の親族	25	1.7%	20	2.0%	45	1.8%	8	2.6%	21	2.3%	29	2.4%	33	1.9%	41	2.1%	74	2.0%
友人や職場の同僚	202	14.0%	131	13.2%	333	13.6%	61	19.6%	202	22.1%	263	21.5%	263	15.0%	333	17.4%	596	16.3%
近所(地域)の人	24	1.7%	34	3.4%	58	2.4%	6	1.9%	30	3.3%	36	2.9%	30	1.7%	64	3.4%	94	2.6%
専門家やサービス機関(行政機関・家政婦等)	49	3.4%	17	1.7%	66	2.7%	12	3.8%	16	1.8%	28	2.3%	61	3.5%	33	1.7%	94	2.6%
誰もいない	20	1.4%	8	0.8%	28	1.1%	22	7.1%	23	2.5%	45	3.7%	42	2.4%	31	1.6%	73	2.0%
合計	1,444	100.0%	996	100.0%	2,440	100.0%	312	100.0%	913	100.0%	1,225	100.0%	1,756	100.0%	1,909	100.0%	3,665	100.0%

(註)回答が各人で複数なされている場合がある。

表18-①急にお金(30万円程度)を借りなければならないとき頼りにする人と結婚満足感(その①)

頼りにする人	結婚満足感の高いグループA						結婚満足感の低いグループB						合計(A+B)					
	男性		女性		計		男性		女性		計		男性		女性		計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
配偶者	496	86.9%	378	66.5%	874	76.7%	75	13.1%	190	33.5%	265	23.3%	571	100.0%	568	100.0%	1,139	100.0%
親・兄弟姉妹	330	81.1%	188	43.7%	518	61.9%	77	18.9%	242	56.3%	319	38.1%	407	100.0%	430	100.0%	837	100.0%
子ども・その配偶者	120	80.5%	81	46.3%	201	62.0%	29	19.5%	94	53.7%	123	38.0%	149	100.0%	175	100.0%	324	100.0%
その他の親族	26	81.3%	12	46.2%	38	65.5%	6	18.8%	14	53.8%	20	34.5%	32	100.0%	26	100.0%	58	100.0%
友人や職場の同僚	26	61.9%	6	26.1%	32	49.2%	16	38.1%	17	73.9%	33	50.8%	42	100.0%	23	100.0%	65	100.0%
近所(地域)の人	3	60.0%	4	50.0%	7	53.8%	2	40.0%	4	50.0%	6	46.2%	5	100.0%	8	100.0%	13	100.0%
専門家やサービス機関(行政機関・家政婦等)	180	76.3%	70	43.2%	250	62.8%	56	23.7%	92	56.8%	148	37.2%	236	100.0%	162	100.0%	398	100.0%
(誰もいない)	32	71.1%	17	32.1%	49	50.0%	13	28.9%	36	67.9%	49	50.0%	45	100.0%	53	100.0%	98	100.0%
合計	1,213	81.6%	756	52.3%	1,969	67.2%	274	18.4%	689	47.7%	963	32.8%	1,487	100.0%	1,445	100.0%	2,932	100.0%

(註)回答が各人で複数なされている場合がある。

表18-②急にお金(30万円程度)を借りなければならないとき頼りにする人と結婚満足感(その②)

頼りにする人	結婚満足感の高いグループA						結婚満足感の低いグループB						合計(A+B)					
	男性		女性		計		男性		女性		計		男性		女性		計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
配偶者	496	40.9%	378	50.0%	874	44.4%	75	27.4%	190	27.6%	265	27.5%	571	38.4%	568	39.3%	1,139	38.8%
親・兄弟姉妹	330	27.2%	188	24.9%	518	26.3%	77	28.1%	242	35.1%	319	33.1%	407	27.4%	430	29.8%	837	28.5%
子ども・その配偶者	120	9.9%	81	10.7%	201	10.2%	29	10.6%	94	13.8%	123	12.8%	149	10.0%	175	12.1%	324	11.1%
その他の親族	26	2.1%	12	1.6%	38	1.9%	6	2.2%	14	2.0%	20	2.1%	32	2.2%	26	1.8%	58	2.0%
友人や職場の同僚	26	2.1%	6	0.8%	32	1.6%	16	5.8%	17	2.5%	33	3.4%	42	2.8%	23	1.6%	65	2.2%
近所(地域)の人	3	0.2%	4	0.5%	7	0.4%	2	0.7%	4	0.6%	6	0.6%	5	0.3%	8	0.6%	13	0.4%
専門家やサービス機関(行政機関・家政婦等)	180	14.8%	70	9.3%	250	12.7%	56	20.4%	92	13.4%	148	15.4%	236	15.9%	162	11.2%	398	13.6%
(誰もいない)	32	2.6%	17	2.2%	49	2.5%	13	4.7%	36	5.2%	49	5.1%	45	3.0%	53	3.7%	98	3.3%
合計	1,213	100.0%	756	100.0%	1,969	100.0%	274	100.0%	689	100.0%	963	100.0%	1,487	100.0%	1,445	100.0%	2,932	100.0%

(註)回答が各人で複数なされている場合がある。

表19-①病気や事故で、どうしても人手が必要なとき頼りにする人と結婚満足感(その①)

頼りにする人	結婚満足感の高いグループA						結婚満足感の低いグループB						合計(A+B)					
	男性		女性		計		男性		女性		計		男性		女性		計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
配偶者	687	84.7%	394	63.7%	1,081	75.6%	124	15.3%	225	36.3%	349	24.4%	811	100.0%	619	100.0%	1,430	100.0%
親・兄弟姉妹	393	83.6%	266	49.5%	659	65.4%	77	16.4%	271	50.5%	348	34.6%	470	100.0%	537	100.0%	1,007	100.0%
子ども・その配偶者	281	83.1%	203	48.4%	484	63.9%	57	16.9%	216	51.6%	273	36.1%	338	100.0%	419	100.0%	757	100.0%
その他の親族	90	87.4%	32	57.1%	122	76.7%	13	12.6%	24	42.9%	37	23.3%	103	100.0%	56	100.0%	159	100.0%
友人や職場の同僚	103	83.7%	56	58.3%	159	72.6%	20	16.3%	40	41.7%	60	27.4%	123	100.0%	96	100.0%	219	100.0%
近所(地域)の人	54	85.7%	54	62.8%	108	72.5%	9	14.3%	32	37.2%	41	27.5%	63	100.0%	86	100.0%	149	100.0%
専門家やサービス機関(行政機関・家政婦等)	87	80.6%	48	49.5%	135	65.9%	21	19.4%	49	50.5%	70	34.1%	108	100.0%	97	100.0%	205	100.0%
誰もいない	1,695	99.8%	1,053	98.0%	17	40.5%	4	0.2%	21	2.0%	25	59.5%	1,699	100.0%	1,074	100.0%	42	100.0%
合計	3,390	91.3%	2,106	70.6%	2,765	69.7%	325	8.7%	878	29.4%	1,203	30.3%	3,715	100.0%	2,984	100.0%	3,968	100.0%

(注)回答が各人で複数なされている場合がある。

表19-②病気や事故で、どうしても人手が必要なとき頼りにする人と結婚満足感(その②)

頼りにする人	結婚満足感の高いグループA						結婚満足感の低いグループB						合計(A+B)					
	男性		女性		計		男性		女性		計		男性		女性		計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
配偶者	687	40.3%	394	37.1%	1,081	39.1%	124	38.2%	225	25.6%	349	29.0%	811	40.0%	619	31.9%	1,430	36.0%
親・兄弟姉妹	393	23.1%	266	25.1%	659	23.8%	77	23.7%	271	30.9%	348	28.9%	470	23.2%	537	27.7%	1,007	25.4%
子ども・その配偶者	281	16.5%	203	19.1%	484	17.5%	57	17.5%	216	24.6%	273	22.7%	338	16.7%	419	21.6%	757	19.1%
その他の親族	90	5.3%	32	3.0%	122	4.4%	13	4.0%	24	2.7%	37	3.1%	103	5.1%	56	2.9%	159	4.0%
友人や職場の同僚	103	6.0%	56	5.3%	159	5.8%	20	6.2%	40	4.6%	60	5.0%	123	6.1%	96	5.0%	219	5.5%
近所(地域)の人	54	3.2%	54	5.1%	108	3.9%	9	2.8%	32	3.6%	41	3.4%	63	3.1%	86	4.4%	149	3.8%
専門家やサービス機関(行政機関・家政婦等)	87	5.1%	48	4.5%	135	4.9%	21	6.5%	49	5.6%	70	5.8%	108	5.3%	97	5.0%	205	5.2%
誰もいない	9	0.5%	8	0.8%	17	0.6%	4	1.2%	21	2.4%	25	2.1%	13	0.6%	29	1.5%	42	1.1%
合計	1,704	100.0%	1,061	100.0%	2,765	100.0%	325	100.0%	878	100.0%	1,203	100.0%	2,029	100.0%	1,939	100.0%	3,968	100.0%

(注)回答が各人で複数なされている場合がある。

表20-①あなたが仮に寝たきりなどで介護を必要とするとき頼りにする人と結婚満足感(その①)

頼りにする人	結婚満足感の高いグループA						結婚満足感の低いグループB						合計(A+B)					
	男性		女性		計		男性		女性		計		男性		女性		計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
配偶者	817	84.6%	418	61.8%	1,235	75.2%	149	15.4%	258	38.2%	407	24.8%	966	100.0%	676	100.0%	1,642	100.0%
親・兄弟姉妹	168	81.6%	151	48.4%	319	61.6%	38	18.4%	161	51.6%	199	38.4%	206	100.0%	312	100.0%	518	100.0%
子ども・その配偶者	289	85.0%	241	50.5%	530	64.9%	51	15.0%	236	49.5%	287	35.1%	340	100.0%	477	100.0%	817	100.0%
その他の親族	20	83.3%	16	55.2%	36	67.9%	4	16.7%	13	44.8%	17	32.1%	24	100.0%	29	100.0%	53	100.0%
友人や職場の同僚	5	55.6%	15	44.1%	20	46.5%	4	44.4%	19	55.9%	23	53.5%	9	100.0%	34	100.0%	43	100.0%
近所(地域)の人	14	77.8%	12	66.7%	26	72.2%	4	22.2%	6	33.3%	10	27.8%	18	100.0%	18	100.0%	36	100.0%
専門家やサービス機関(行政機関・家政婦等)	189	82.5%	148	48.8%	337	63.3%	40	17.5%	155	51.2%	195	36.7%	229	100.0%	303	100.0%	532	100.0%
誰もいない	11	64.7%	8	25.0%	19	38.8%	6	35.3%	24	75.0%	30	61.2%	17	100.0%	32	100.0%	49	100.0%
合計	1,513	83.6%	1,009	53.6%	2,522	68.3%	296	16.4%	872	46.4%	1,168	31.7%	1,809	100.0%	1,881	100.0%	3,690	100.0%

(註)回答が各人で複数なされている場合がある。

表20-②あなたが仮に寝たきりなどで介護を必要とするとき頼りにする人と結婚満足感(その②)

頼りにする人	結婚満足感の高いグループA						結婚満足感の低いグループB						合計(A+B)					
	男性		女性		計		男性		女性		計		男性		女性		計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
配偶者	817	54.0%	418	41.4%	1,235	49.0%	149	50.3%	258	29.6%	407	34.8%	966	53.4%	676	35.9%	1,642	44.5%
親・兄弟姉妹	168	11.1%	151	15.0%	319	12.6%	38	12.8%	161	18.5%	199	17.0%	206	11.4%	312	16.6%	518	14.0%
子ども・その配偶者	289	19.1%	241	23.9%	530	21.0%	51	17.2%	236	27.1%	287	24.6%	340	18.8%	477	25.4%	817	22.1%
その他の親族	20	1.3%	16	1.6%	36	1.4%	4	1.4%	13	1.5%	17	1.5%	24	1.3%	29	1.5%	53	1.4%
友人や職場の同僚	5	0.3%	15	1.5%	20	0.8%	4	1.4%	19	2.2%	23	2.0%	9	0.5%	34	1.8%	43	1.2%
近所(地域)の人	14	0.9%	12	1.2%	26	1.0%	4	1.4%	6	0.7%	10	0.9%	18	1.0%	18	1.0%	36	1.0%
専門家やサービス機関(行政機関・家政婦等)	189	12.5%	148	14.7%	337	13.4%	40	13.5%	155	17.8%	195	16.7%	229	12.7%	303	16.1%	532	14.4%
誰もいない	11	0.7%	8	0.8%	19	0.8%	6	2.0%	24	2.8%	30	2.6%	17	0.9%	32	1.7%	49	1.3%
合計	1,513	100.0%	1,009	100.0%	2,522	100.0%	296	100.0%	872	100.0%	1,168	100.0%	1,809	100.0%	1,881	100.0%	3,690	100.0%

(註)回答が各人で複数なされている場合がある。

文部省科学研究費基盤研究 (A) : 10301010

家族生活についての全国調査 (NFR98) 報告書 No. 2-3

現代日本の夫婦関係

Marital Relations in Contemporary Japan

岩井紀子編

2001年6月

日本家族社会学会
全国家族調査 (NFR) 研究会